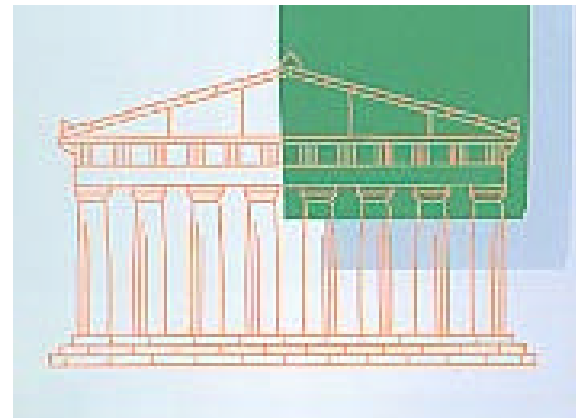


施工要領書



土紀

Κρήτη



大津

壁公望
KABEKOBO

株式会社 壁公望

土紀・クレタ・大津の材料概要

材料一覧表

材 料 名	内 容	荷 姿		備 考
		ベース材	配合材	
土 紀	珪藻土系 内外装仕上げ材	15kg (粉体)	5kg (粉体)	櫛目仕上げ 掻き落とし デザイン仕上げ
ク レ タ	石灰系 内外装仕上げ材	20kg (ペースト)	4kg (粉体)	漆喰壁 木鏝仕上げ デザイン仕上げ
大 津	石灰系 内外装仕上げ材	20kg (粉体)	-	漆喰壁 スムーズ仕上げ しっとり柔らか感
U M P ウルトラメンテペースト	セメント系 下地調整材	4kg×4 (粉体)	2kg×4 (液体)	下地調整材
U M M ウルトラメンテモルタル	セメント系 樹脂モルタル	16kg (粉体)	1.8kg (液体)	ガラスネット 伏せ込み用モルタル
補強ネット	補強ネット	1m×100m	-	ガラスネット
表面強化剤	表面強化剤	2kg (液体)	-	表面に塗布し、表面を強化する

その他の材料および道具等

乾燥砂、バーミキュライト、寒水、色石、清水等

金鏝、木鏝、櫛目鏝、ワイヤーブラシ、刷毛、ローラー、定規等

標準配合と使用量

材 料 名	ベース kg	配合材 kg	乾燥砂 kg	清 水 kg	施工面積 m ²	塗り厚 mm
土 紀	15	5	20 - 30	20 - 25	5 - 6	7 - 8
ク レ タ	20	4	-	3 - 5	6 - 7	4 - 5
大 津	20	-	-	10 - 15	12 - 15	1.5 - 2.0
U M P	4	2	-	-	15 - 20	刷毛塗り
U M M	16	1.8	-	-	5 - 6	2.0 - 2.5
表面強化剤	2	-	-	2	16	刷毛塗り

清水の配合量は、湿度、気温、季節などにより適正量が変わります。

少な目に添加し慎重に粘度調整を行って下さい。

荷 姿

土 紀 (珪藻土仕上げ材)

- ・ ベース材 (右): 15kg (粉体)
- ・ 配合材 (左) : 5kg (粉体)



クレタ (生石灰クリーム仕上げ材)

- ・ ベース材 (左下): 20kg (ペースト)
- ・ 配合材 (左上) : 4kg (粉体)



大 津 (珪藻土含有 土漆喰仕上げ材)

- ・ 20kg (粉体)



材工設計価格

材 料 名	仕 上 げ 方 法	仕上げ厚	単価 円 / m ²
ク レ タ	木鋸引きずり仕上げ	4mm	8,000
大 津	金鋸押さえ仕上げ	2mm	8,000
土 紀	撫で切り仕上げ	8mm	10,000
	掻き落とし仕上げ		11,000
	櫛目仕上げ		13,000
	デザイン		18,000

注)上記価格には、モルタル下地・コンパネ下地等へのUMP (セメント系下地調整材) 処理を含む。

その他の費用

1. 別途下地作りが必要な場合

下 地 の 種 類	下 地 処 理	単価 円 / m ²
コンクリート下地	UMM (樹脂モルタル)不陸調整	3,000
ラスボード下地	石膏プラスター処理	3,000
ALCボード下地	UMM (樹脂モルタル)全面ガラスネット処理	4,500

2. 外部に使用する場合

シラン系撥水剤処理 1,800円 / m²

3. 土紀を内部や床に使用する場合

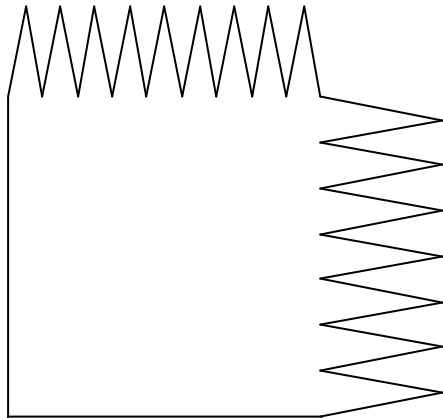
表面強化剤処理 1,500円 / m²

仕上げ別施工方法

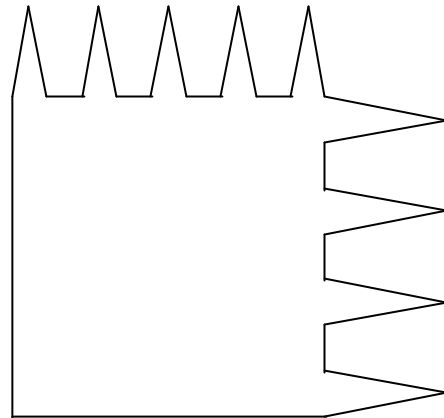
(1)土 紀

1. 櫛目仕上げ

- 1) 3mm～4mm程度下塗りを付け、水引を見て上塗を4～5mm塗り付けます。一度平滑に押さえた後、塗材の縮まり具合をみて専用の櫛目ゴテで櫛目を入れておきます。櫛目ゴテは10mm、15mm、20mmピッチの3種類があります。



10mmピッチ



20mmピッチ



- 2) 表面がある程度締まってきたら、櫛目ゴテと同じピッチに加工した専用のワイヤーブラシで櫛目の溝を何回もなぞり、骨材やバーミキュライトを表面に出していきます。

ブラシを当てるタイミングは、下地・通風・天候・季節によって異なります。夏場でプラスターなどの下地の場合2～3時間で締まってくることもありますが、逆に冬場でコンクリート下地の場合翌日まで締まらない場合があります。ブラシを当てても山が崩れずに残る程度まで締まるまで待ちます。



(柔らかいワイヤーブラシ)



(櫛目引き用ワイヤーブラシ)

- 3) 好みに応じて、櫛目用ワイヤーブラシの当たらない山の部分のノロも落とします。ノロ落とし用には柔らかめのステンレスブラシを使用します。ノロを残しておくと白っぽく仕上がり、ノロを落とすと色が濃くなります。

- 4) 1～2日置いてから、櫛目溝に残ったチリをはけ又はチリ箒で払い落とします。内装は十分払い落とす必要がありますが、外装は落とさなくても構いません。

2. 掻き落とし仕上げ

- 1) 材料の塗り付けまでは、櫛目仕上げの時と同じです。
- 2) 塗壁が締まってくるのを待ち、大きなパターンを出したいときには、左官用掻き落とし (ゴムベースに釘の生えたもの) で自由に大きく掻き落とします。表面のノロだけを落としたいときには、柔らかめのステンレスブラシ でノロを落とします。
- 3) 1～2日置いてから、壁面に残ったチリをはけ又はチリ箒で払い落とします。内装は十分払い落とす必要があります。



3. 撫できり仕上げ

- 1) 材料の塗り付けまでは、櫛目仕上げの時と同じです。
- 2) 水引を見てしっかりと押さえて下さい。
- 3) 金鋺で仕上げるため、上塗り材料にバーミキュライトを入れると表面に出たバーミキュライトを金鋺で押さえるためバーミキュライトが潰れ見苦しくなります。撫で切りの時はバーミキュライトを入れないようにして下さい。

4. 押し型ぼかし仕上げ



- 1) 材料の塗り付けまでは、櫛目仕上げの時と同じです。
- 2) 塗壁面が柔らかい内に、金鋺や金ベラなどの道具を用いて、塗面に押し型のパターンを付けておきます。
- 3) 表面が締まってきたら、凹凸のパターンの山の部分だけを柔らかいステンレスブラシで掻き落とします。谷の部分の部分が白っぽいパターンとして鮮明に現れます。

5. その他の仕上げへのヒント

- 1) 櫛目引きは、横引きだけでなく縦引きもできます。横引きと縦引きを組み合わせることであるんなデザインも可能です。
- 2) 平面方向の色の使い方として、腰壁や天井付近の鉢巻きとして多色を組み合わせる方法があります。
- 3) 垂直方向の色の使い方として、上塗りを材料の色を変え2～3回塗り櫛目引きや掻き落としの時下の色が出てくるようにする方法があります。
- 4) 上塗り材の中に藁スサを入れて塗り付け、表面が柔らかい内に木鏝などで荒らすと土壁に近い風合いが得られます。

6. 施工上の注意事項

- 1) 内部の場合、櫛目や掻き落としの強さによっては表面がなかなか安定せずポロポロと骨材が落ちてくる場合がありますが、表面強化剤を塗布することで表面が安定します。
- 2) 内・外部で人の接触の多いところ等は、表面強化剤を塗布して下さい。
- 3) 外部に使用する場合、「土紀外部用」を使用し、完全乾燥させて専用撥水剤を塗布して下さい。白華と無機物の汚染を防止します。専用撥水剤は必ず塗壁面が完全乾燥してから施工して下さい。塗壁が水分を持っていると撥水効果が出ないことがあります。
- 4) 下地が平滑な面に、一度に塗り付けるとダレ割れする事があります。塗り付けの時2度塗りすることが必要です。

(2)クレタ

1. 木鏝仕上げ

- 1) 下ごすりをし4～5mm材料を塗り付け、一度平滑になるように押さえます。
- 2) 塗壁面が柔らかい内に木鏝で表面を荒らしパターンを付けていきます。表面が十分柔らかい内にパターンを付けるとパターンは大きくなります。又、ある程度表面が締まってパターンを付けるとパターンは小さくなります。



2. うろこ仕上げ



- 1) 下ごすりをし、下塗りを2mm程度塗り付けます。
- 2) 追っかけて、金鋺に塗材を載せ鋺尻を下塗りに付け鋺先を浮かせて扇状に塗り付けます。この作業を繰り返してうろこ状に仕上げていきます。

3. スタッコ仕上げ

- 1) 下ごすりをし4～5mm材料を塗り付けます。
- 2) 塗壁面が柔らかい内に金鋺にて塗材を引き起こします。
- 3) 水が引き、壁面が締まってきたら金鋺にて引き起こした頭を押さえます。乾き過ぎると押さえられなくなるので注意して下さい。

4. その他の仕上げへのヒント

- 1) 2～3色を軽く混ぜ合わせ塗り付けるとカラーパターンとすることができます。
- 2) 平面方向の色の使い方として、腰壁や天井付近の鉢巻きとして多色を組み合わせる方法があります。
- 3) 撫で切り仕上げにすることもできます。
- 4) 型押しローラーで仕上げることもできます。

6. 施工上の注意事項

外部に使用する場合、「クレタ外部用」を使用し、完全乾燥させて専用撥水剤を塗布して下さい。白華と無機物の汚染を防止します。専用撥水剤は必ず塗壁面が完全乾燥してから施工して下さい。塗壁が水分を持っていると撥水効果が出ないことがあります。

(3)大 津

1.撫で切り仕上げ

- 1) 金鏝で下ごすりをし、1.5～2mm程度塗り付けます。
- 2) 水引を見て2～3度鏝押さえして仕上げます。大津の一般的な仕上げ方法です。

2.落ち葉透かし仕上げ



- 1) 下塗りの大津を塗り、柔らかい内に紅葉・銀杏などの葉を貼り付けます。葉は、新しい内は茎が跳ねるので、2日ほど新聞紙等の中に入れ寝かせます。次に葉の葉脈の形がはっきり出るように押さえます。
- 2) 下塗りが締まってきたら、麻スサを抜いた色違いの大津を塗り付けます。この時、上塗りの大津の厚みは0.5～1mmと薄く塗ることが大切です。
- 3) 葉っぱを入れたところが白く浮き上がってきたら、針やピンセットで注意深く葉っぱを剥がし取ります。

3.その他の仕上げへのヒント

- 1) 意匠のため、藁スサを入れて仕上げても構いません。灰汁抜きをしていない藁を入れた場合、藁の周辺に灰汁の色が出る場合がありますので、その効果を考慮の上御使用下さい。
- 2) ノ口を上塗りの上に掛けることで磨きもできます。

4.施工上の注意事項

- 1) 外部に使用する場合、雨の掛からない軒下等に限定して下さい。また、専用の油を加えて下さい。
- 2) 外部の場合、1～3日完全乾燥させて専用撥水剤を塗布して下さい。白華と無機物の汚染を防止します。専用撥水剤は必ず塗壁面が完全乾燥してから施工して下さい。塗壁が水分を持っていると撥水効果が出ないことがあります。

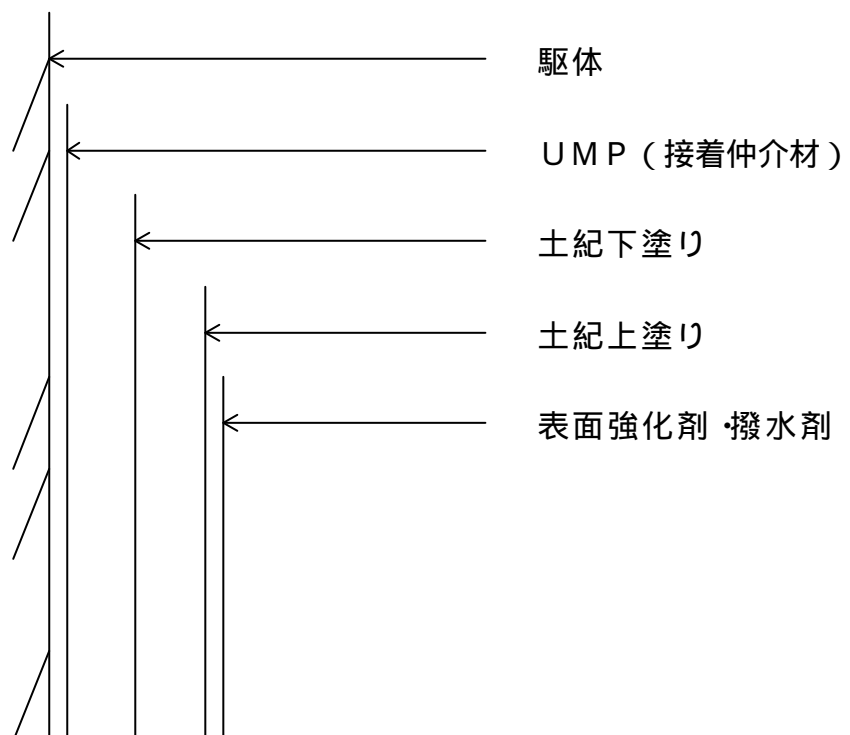
下地別施工方法 (例 :土紀櫛目仕上げ)

コンクリート下地

- 材 料
- 1 土紀 1セット20kg 7mm厚で約5m²
 - 2 海砂 20kg ~ 30kg / セット
 - 3 バーミキュライト (好みによる)
 - 4 UMP 1セット6kg (主剤2kg + 硬化剤4kg)
 - 5 6号硅砂 6~8kg / UMP 1セット
 - 6 表面強化剤又は撥水剤

- 施工方法
- 1 硅砂を混合したUMPを鋺又はゴム鋺にてしごき塗り (完全乾燥)
 - 2 土紀 下塗り3~4mm 上塗り4~5mm
 - 3 上塗りがまだ柔らかいうちに専用の櫛目鋺で櫛目を入れる。
(櫛目は10mmと20mmピッチのものがある)
 - 4 ある程度締まってきたら、同ピッチのワイヤーブラシで櫛目の溝を
何回もなぞり、骨材やバーミキュライトを表面に出していく
(ブラシを当てても山が崩れずに残る程度まで締まるのを待つ)
 - 5 好みに応じてブラシの当たらない山の部分のノロも落とす
(柔らかいステンレスブラシを使用)
 - 6 1~2日置いてから櫛目の溝のぼろぼろした部分をチリ箒で払い落
とす
 - 7 完全乾燥後、必要に応じて表面強化剤又は撥水剤を塗布する

クレタ・大津も下地処理までは同様の手順で施工



下地別施工方法 (例 :土紀櫛目仕上げ)

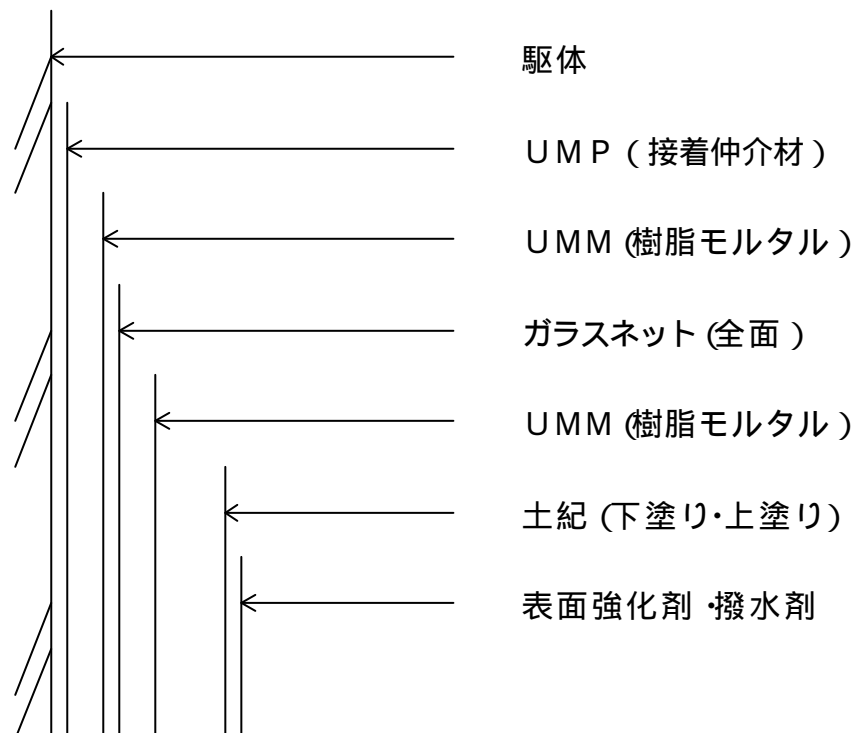
ALC・一般空洞ブロック下地

材 料	1 土紀	1セット20kg	7mm厚で約5m ²
	2 海砂	20kg ~ 30kg /セット	
	3	パーミキュライト (好みによる)	
	4 UMP	1セット6kg (主剤2kg + 硬化剤4kg)	
	5 UMM	1セット17.8kg (主剤1.8kg + 硬化剤16kg)	
	6	ガラスネット	
	7	表面強化剤又は撥水剤	

施工方法	1	UMPを刷毛又はローラーにて塗布 (完全乾燥)
	2	ジョイント部分にUMM充填
	3	UMM全面薄塗り
	4	追っかけてガラスネット貼り (全面) 鏝押さえ
	5	再度UMM全面薄塗り
	6	以下コンクリート工法に準じる

ブロックを芋積みにした場合、必ず目地部分から亀裂が出る
外部の場合ブロック目地モルタル・充填モルタルから白華現象が出る
ことがあるので白華防止剤を使用

クレタ・大津も下地処理までは同様の手順で施工



下地別施工方法 (例 :土紀櫛目仕上げ)

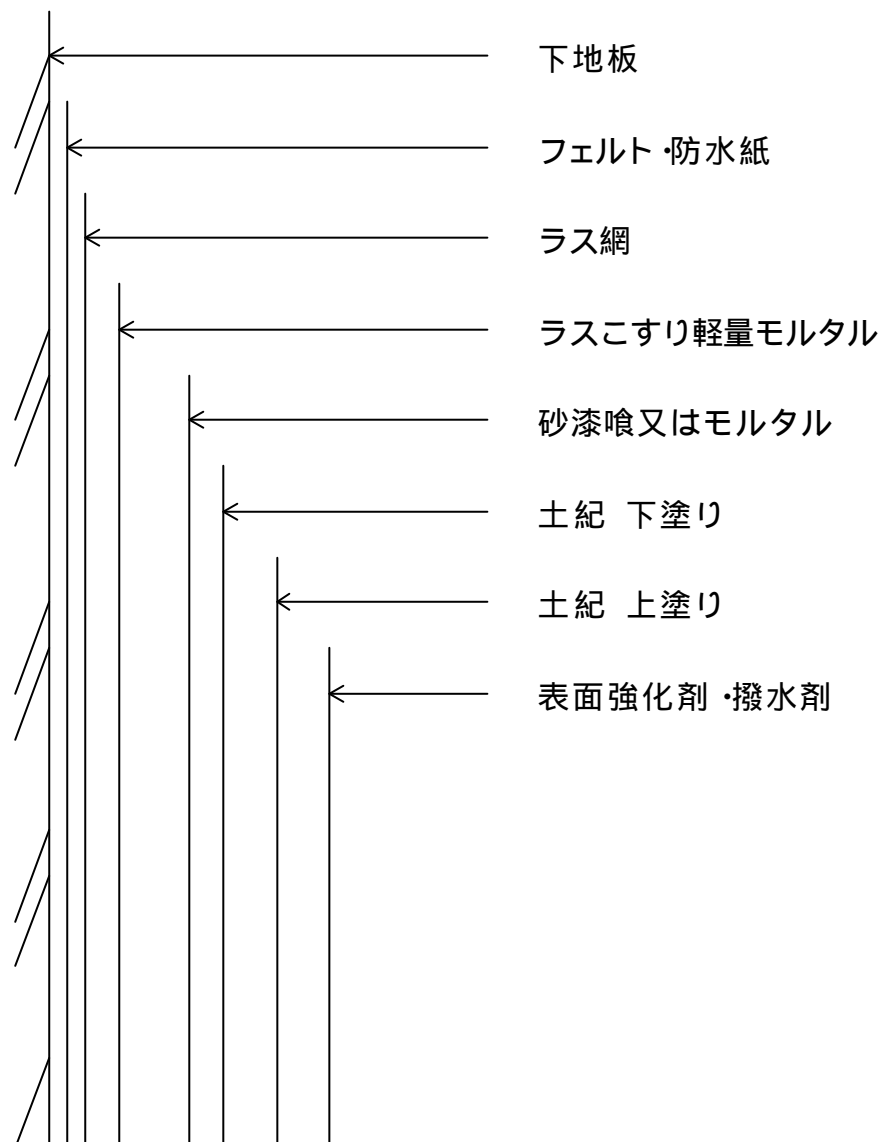
ラスモルタル下地

- 材 料
- 1 土紀 1セット20kg 7mm厚で約5m²
 - 2 海砂 20kg ~ 30kg /セット
 - 3 パーミキュライト (好みによる)
 - 4 表面強化剤又は撥水剤

- 施工方法
- 1 土紀 下塗り3~4mm 上塗り4~5mm
 - 2 以下コンクリート工法に準じる

モルタルは通常の砂モルタルでも可能ですが、軽量モルタル又は砂漆喰の方がクラックが出難くなります

クレタ・大津も下地処理までは同様の手順で施工



下地別施工方法 (例 :土紀櫛目仕上げ)

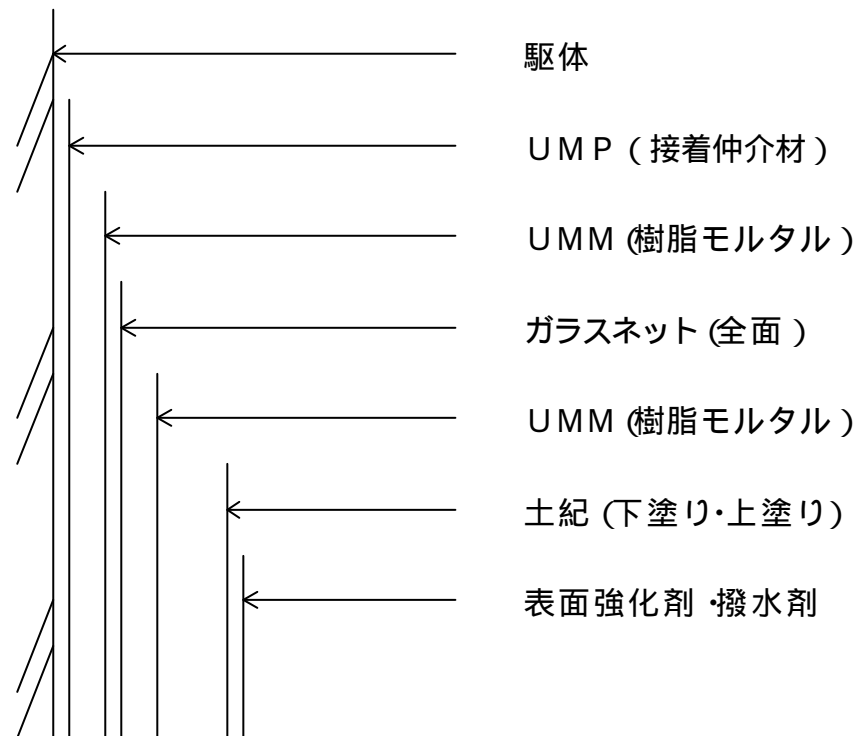
耐水合板・珪カル板下地

- | | | | |
|-----|-------|----------------------------------|-----------------------|
| 材 料 | 1 土紀 | 1セット20kg | 7mm厚で約5m ² |
| | 2 海砂 | 20kg ~ 30kg / セット | |
| | 3 | パーミキュライト (好みによる) | |
| | 4 UMP | 1セット6kg (主剤 2kg + 硬化剤 4kg) | |
| | 5 UMM | 1セット17.8kg (主剤 1.8kg + 硬化剤 16kg) | |
| | 6 | ガラスネット | |
| | 7 | 表面強化剤又は撥水剤 | |

- | | |
|------|---------------------------|
| 施工方法 | 1 UMPを刷毛又はローラーにて塗布 (完全乾燥) |
| | 2 ジョイント部分にUMM充填 |
| | 3 UMM全面薄塗り |
| | 4 追っかけてガラスネット貼り (全面) 鋺押さえ |
| | 5 再度UMM全面薄塗り |
| | 6 以下コンクリート工法に準じる |

ボード類の下地の場合、駆体の動きによる目地部、開口部コーナー付近からのクラックを押さえる為の処理が必要です

クレタ・大津も下地処理までは同様の手順で施工



下地別施工方法 (例 :土紀櫛目仕上げ)

平ボード下地

材 料	1 土紀	1セット20kg	7mm厚で約5m ²
	2 海砂	20kg ~ 30kg /セット	
	3 バーミキュライト (好みによる)		
	4 ファーストコート	20kg /ケース	
	5 ガラスネット		
	6 表面強化剤		

- 施工方法
- 1 ジョイント部にガラスネットを貼り付ける
 - 2 ファーストコート (石膏系下塗り材)を塗り付ける
 - 3 ファーストコート乾燥後以下コンクリート工法に準じる

ボード類の下地の場合、駆体の動きによる目地部、開口部コーナー付近からのクラックを押さえる為の処理が必要です

クレタ・大津も下地処理までは同様の手順で施工

